

敬老会

自治会女性部

部長 藤井京子

本年度の県主地区敬老会は、未明から「オリンピック開催、東京に決定」のニュースに全国が湧いた9月8日でした。

対象者262名のうち51名の参加をいただき、女性部役員が心を込めて作ったミニブーケと笑顔で「お・も・て・な・し」の心でお迎えました。

岡本宮司による「ご長寿・健康長寿祈願」の神事が執り行われた後、西本自治連合協議会長の開会の挨拶で会がはじまりました。

最初に井原市より敬老者全員に記念品が贈られました。
・敬老（米寿）祝い金8名
・米寿記念写真 6名



第4号

発行

県の里まちづくり推進協議会
県主地区自治連合協議会
県主公民館
県主地区社会福祉協議会

・金婚記念写真

3組

・ご在宅最高齢者賞

岡田逸子様（99歳）に記念品贈呈がありました。皆様、おめでとうございました。

ご来賓のご祝辞に続き、演芸は、小学一年生や幼稚園児による歌やダンス、園児の手渡ししのプレゼントと「いつまでも元気でいてください。」の言葉に、皆さんが涙を潤ませて握手をしておられた横顔が心に残りました。

次にゲストの佐古田さんによる「南京玉すだれ」「手品」を、また木之子町の八重本さん、笹井さんによる「どじょうすくい」で会場が和やかな笑顔でいっぱいになりました。

敬老者の皆様には、これからますますお元気で、お過ごしくださいますよう

◀ 幼稚園児からのプレゼント



出席者全員の記念写真

心よりお祈りいたします。終わりにになりましたが、前日からの準備も併せ、地

域の皆様、役員の皆様には多大なご協力を頂きましたこと厚くお礼申し上げます。



今、農業を取り巻く環境は耕作放棄地や後継者の問題、減反政策廃止の発表など、課題が山積している中で、先祖伝来の田畑をどのように維持管理していくか、大きな岐路に立っていると思います。

私たち県の里まちづくり推進協議会うつくしい里部会では、これらの問題を事業のベースに置き、みのりの里部会と共同で「かかしコンテスト」を開催することになりました。

ここ県主に広がる美しい

「かかしコンテスト」を終えて

県の里まちづくり推進協議会
うつくしい里部会長 蔵本久美

田園風景を生かし、地域の皆様とともに農業の今後を考えるきっかけづくりになればと考えました。

7月中旬から募集チラシの配布を始め、新聞折り込みや市内13の小学校・各種団体・知人などに参加を呼びかけました。

その結果、54体の作品の展出が決まり、展示会場の配置を考えたり、「かかしロードマップ」の作成を行ったりと忙しい毎日を迎えることとなりました。そして、9月8日、まだまだ暑い中を多くの皆さんの協力を得て、「かかしたち」は会場に並ぶことになりました。

展示期間中は、台風への対策や、会場の草刈りを行ったり、「かかしたち」の衣装直しをしたりして、頑張ってくれている「かかしたち」を良い状態で、多

くの皆さんに見ていただけるように努めました。

そして、徐々に情報が広まりマスコミやインターネットの記事を見たところ、倉敷・福山方面をはじめ、遠くは大阪からも訪れていたできました。もちろん、地域内の皆さんや近隣のサロン、デイサービス施設からも多くの方々が「かかしたち」に会いに来てくださり、感激する場面もありました。

会期終盤には、瀧本市長さんをはじめ、地域の各種団体の皆さんに審査をお願いし、入賞者を決定して、11月10日に開催された文化祭の時間をいただき表彰式を執り行いました。

後日談ですが、「かかしたち」はどれも力作ばかりで、審査に苦労したと聞き、審査員の皆様にはお手数をおかけしたなと感じております。ありがとうございます。

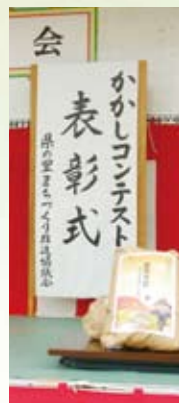
出展していただいた児童クラブの子どもたちや一般で出展していただいた方々、展示会場・駐車場を快く貸していたいただいた地主の方、



大江折口サロン



佐藤和代さん



審査員の方々、周辺の耕作者の方々、更に終始協力をしていたいただいた多くの皆さんの思いの中で、無事「かかしコンテスト」を終了することができて、今は感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございます。

かかしコンテスト受賞者

最優秀賞：県主小学校
優秀賞：ケアハウスのこせいモン

佳作：花本正光さん
作：長谷佳子さん

赤城直佳さん
きのこせいモンデイサービス

特別賞：杉本幸翼さん
佐藤和代さん
大江折口サロン

ガンバル地域の 第1回「かかしコンテスト」

写真提供／戸出三朗さん



左より ケアハウスきのこセイモン ・ 県主小学校 ・ 蔵本麻希さん



長谷佳子さん



赤城直佳さん



花本正光さん



杉本幸翼さん



11/10

▲市長杯2連覇 県主タイヨーズ女子
ハウス祭り



◀3B体操体験



▲木之子中学校生徒作品



▲チクチク倶楽部 パッチワーク展示



▲電車ごっこ ふるさとかし



▲でんちゅうくん来場
子どもたちにもてもて



▲小雨の中 開会式



▲アースラブ県主 焼きそば



県

主

の

わ

だ

い





11/27

お正月に向けて寄せ植え
サロンなごみの会



9/4

大雨で道路冠水



9/26

松村 明君 高校総体出場
激励金交付 (レスリング)



8/8

かかしコンテスト 作品製作中
(児童クラブ)



8/13

県の里納涼盆踊り大会
公民館長のあいさつ



お父さん達も踊りの輪に入り
盛り上がりました



児童育成活動

社協 蔵本哲治

県主地区社会福祉協議会では恒例の児童クラブ支援事業を、更生保護女性会、主任児童委員の方々のご協力を頂き、夏休み期間中の5日間児童クラブを訪問し実施しました。

なかでも、8月7日におこなったソーメン流しでは、昨年よりも長くなった竹といと笹を飾り付けるなど少しレベルアップした内容でおこないました。

子どもたちは、つゆの入った器と箸を持つと我先にと竹といのサイドに立ち、「早く流して」と、はしゃぎながら待っている顔は、本当に良い笑顔でした。

そして、いざ流すと箸を上手に使い、流れてくるソーメンやサクランボなどを、笑顔で口いっぱいほうばり「おいし」と満足していました。

なかには、ソーメンよりサクランボやトマトばかり取っ



読み聞かせ



ソーメン流し

ている子どももいました。短い時間ではありましたが、子どもたちと一緒に私たちも楽しみながらすることができ、とても有意義な時間を過ごせました。最後になりましたが、この事業にご協力くださいました皆様、お忙しい中平日にもかかわらず、お手伝いいただき大変お世話になりました。ありがとうございます。

理事研修

社協 藤井房郎

11月30日、県主地区社会福祉協議会の理事研修を12名の参加で行いました。

今回は、浅口市金光町八重地区の社会福祉協議会を視察しました。八重地区片山会長、県主地区鳥越会長挨拶のあと、約2時間30分お互いの活動を報告し、意見交換を行い交流を深めました。

八重地区は、人口約500名、170世帯で県主地区より小さい規模ですが、月一回のサロン及び給食サービスの夏祭り、小学生の登下校の見守り隊等充実した活動を展開されています。

お年寄りから子どもまで、安心、安全に暮らせるまちづくりを社協と地元住民が、一丸となって取り組んでいる姿勢が印象的でした。

研修のあと、倉敷に足へのぼし美観地区を散策して帰路につきました。



第3回 市民の声を聴く会

第3回市民の声を聴く会が8月22日県主公民館で開催されました。市議会から藤原清和議員を班長に5名の議員（藤原清和・西田久志・宮地俊則・坊野公治・荒木謙二）が出席、当地区から16名が出席し、意見交換がおこなわれました。

今回質問のあった内容に対する回答は、11月末に届いています。

公民館の掲示板に掲示しておりますのでお立ち寄りの上ご確認いただきますようお願いいたします。



県主婦人学級では、パステルアートや陶芸などの体験や介護、ゴミの分別の勉強会など一年を通して活動をしています。研修旅行では、足守プラザに行き、土ひねりや絵付けの体験をしました。一人一人が好きな色や形など工夫しながら作品を仕上げていきました。足守の街並み散策や買い物、食べ歩きなど日常生活では味わう事のできないこ

婦人学級の活動

学級長 佐藤典子



土ひねりに挑戦中

とができ、笑顔の多い、楽しい研修旅行となりました。

第51回市民体育大会

保体部長 森下和美

前日は雨、体育館での開催かと気をもんでいましたが、当日は天候も回復、快晴の中で第51回井原市民体育祭が10月6日開催されました。

入場行進では、県主が誇る伝統芸能「鳥羽踊り」、まちづくり推進協議会で取り組んでいる「ふるさとのかし」を前面にだすなど、地域の特色をアピールし力強く行進しました。

成績は、選手全員力いっぱい競技に取り組みましたが、総合順位では入賞には至りませんでした。しかし、個々の競技では上位入賞する種目もあり応援にも一段と力が入りました。昨年には続き総合成績では下位に甘んじましたが、次回大会では上位入賞



ができればと思います。選手の皆様ご苦労様でした。また、選手選考に協力いただいた各種団体、役員の皆様大変お世話になりました。ありがとうございました。



まちづくり推進協議会からのお知らせ

あんしんの里部会

防災士の取得



まちづくり
推進協議会の
佐藤和行さん
(あんしんの
里部会長)

が防災士の資格を取得されました。

防災士とは、「自助・互助・協働を原則とし、行政機関と連携して、社会の様々な場での減災と防災力向上のための活動が期待され、さらにそのために十分な意識と知識・技能を有するものとして認められた人」と定義されています。

その活動は、主として地震や水害、土砂災害、火山噴火などの災害において、行政機関や民間組織、個人と力を合わせて、次のような活動を行うものとされています。

○平常時においては、防災意識・知識・技能を生かして啓発にあたるほか、大災害時に

備えた自助・共助活動の訓練や防災と救助等の技術の練磨などに取り組む。また時には防災・救助計画の立案等にも参画。

○災害時には、それぞれの所属する団体・企業や地域などの要請により避難や救助・救命、避難場所の運営などにあたり、地域自治体など公的な組織やボランティアの人達と協働して活動。

井原市では、本年度から防災士の資格取得のための予算を計上し、市内十三地区に資格者を配置し防災計画の二翼を担ってもらうこととし、その第一期生となったものです。今後、防災士の資格者を増員することとしています。

災害のない地域づくりのための活動をお願いし、活躍を期待します。



みのりの里部会

先進地視察(六次産業化の取組み)

六次産業化とは、地域の農産物等を活用し、生産から加工、そして販売までの取り組みを行うことです。

私たちの地域は、稲作が中心の兼業農家が大半を占める中、地域の農業の将来を考える時、今、何かの行動を起こしていかなければならないと考えます。六次産業化の先進地を視察して、そのきっかけを得ることができればと思います。多くの皆さんの参加をお待ちしています。

日時：1月19日(日)

場所：広島県「ファームおだ」

会費：三三〇〇円

出発時間：8時(分室)

はぐくみの里部会

人材育成講座の開催(日程等未定)

一人でも多くの皆さんに、主体的にまちづくり活動に関わっていただくために、人材育成事業(リーダー養成講座)の開催を予定しています。

日時、講師等は未定ですが、ご期待下さい。

ご寄付ありがとうございます

ございました

県主地区社会福祉協議会へ

松田千恵子様(亡夫)

森本 正義様(亡父)

紙面をもってお礼にかえさせていただきます。

出生おめでとう

ございます

佐藤真洋・稔子さん

男の子 諒汰郎ちゃん

(7月28日生まれ)

鳥越治彦・典子さん

男の子 理夢ちゃん

(8月26日生まれ)



お知らせ

1月3日

▽新年互礼会

1月13日

▽わらいの講座

1月14日

▽とんど集会

3月16日

▽大谷三十三観音めぐり